

令和7年 第3回前半の 定例会を終えて



杉本 透

神奈川県議会議員
(足柄上区選出)

令和7年9月8日(10月14日まで、第3回前半の県議会定例会が開催されました。内容は、9月補正予算ならびにその他の諸議案についてです。

はじめに、日産自動車(株)の追浜工場が車両生産を令和9年度末をもって終了すると発表がありました。それを受け、県内の関連企業が1700社以上あり、その支援をすべく、体制を整えていくことと、また米国関税について、影響を受けることが懸念される中小企業も支えなければなりません。

そのために、「米国関税および日産自動車生産

縮小に関する対策協議会」を立ち上げ、懸念される企業を支える体制の構築をしてまいります。

次に、津久井やまゆり園事件が発生してから9年が経過し、若い世代を中心に事件を知らない方が徐々に増えております。事件を風化させないためにも「ともに生きる社会

かながわ憲章」を制定し、憲章の理念を県民に伝えようと、様々な事業を通じて発信を続けています。しかしながら昨年7月、中井やまゆり園へ入所を希望していた方が、適切な支援ができずに、転居先で死亡する事件が発生しました。このこと

を重く受け止め、令和8年4月に(独)神奈川県立福祉機構を設立し、福祉の人材の育成に努めていきます。

次に、自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例を改正し、乗車用ヘルメットの着用促進等に係る規定の新設をします。病院経営緊急支援については、物価高騰等により経営が悪化している病院に対し、給付金の支給や病院の経営相談窓口を設置します。

県立足柄ふれあいの村の指定管理者は、南足柄市の(株)アグサに決定しました。また、「GREEN EXPO2027」の開催に向け、県内全域の機運醸成を図るため、効果的なプロモーションを行います。様々な議案が提出されましたが、県西地域に関係する内容を取り上げました。

今後とも地域発展のため、しっかりと取り組んでまいります。